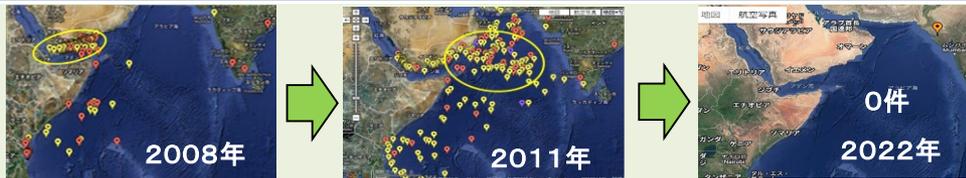
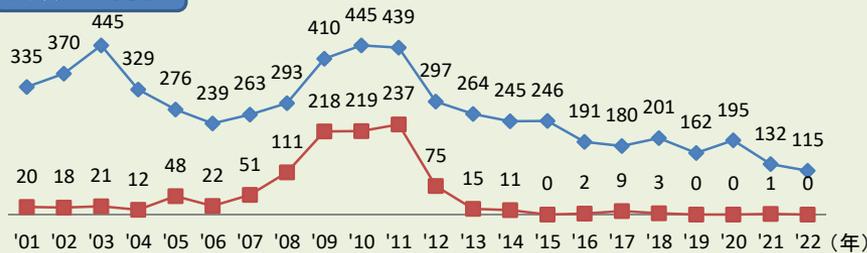


ソマリア沖・アデン湾における海賊対処について、我が国では、自衛隊部隊の派遣を始め、国際社会と協力して様々な取組を行っています。2022年のソマリア沖・アデン湾の海賊の動向や我が国の取組とその成果等を取りまとめました。

海賊の現状

◆ 全世界 ◆ ソマリア沖・アデン湾及びその周辺



我が国を含む国際社会の取組により、2022年のソマリア沖・アデン湾及びその周辺における海賊等事案発生件数は0件でしたが、依然として状況は予断を許さず、継続した取組がなければ、再び大規模な海賊行為が発生するおそれがあります。

我が国の海賊対処行動

派遣海賊対処行動部隊

- 水上部隊(約200名/護衛艦1隻)海上保安官8名同乗
- 航空隊(約60名/P-3C哨戒機2機)
- 支援隊(約120名)

各国の活動状況

艦 艇		哨 戒 機
エスコート	ゾーンディフェンス	哨戒機
自国特組み (日・中・印等)	欧州連合海軍部隊 (西・伊等)	欧州連合海軍部隊 (西)
	第151連合任務群 (日・韓・米等)	第151連合任務群 (日本)

(注)参加国間のローテーション等の関係で、派遣国は時期により異なる。



海賊多発海域における日本船舶の警備に関する特別措置法



海賊多発海域を航行する日本船舶において、国土交通大臣の認定を受けた特定警備計画に基づき、一定の要件を満たす民間武装警備員による乗船警備ができます(2022年12月1日の法令改正により対象船舶を拡大*).

※当初の原油タンカーに加え、ばら積み船、LPG運搬船、ケミカルタンカー等を追加



商船を護衛する護衛艦

2022年の活動実績

- 護衛艦による護衛活動
護衛回数: 6回
護衛隻数: 7隻
- OP-3C哨戒機による監視活動
飛行回数: 192回
飛行時間: 約1,130時間
確認した商船数: 20,621隻
情報提供回数: 330回

国際社会との連携・協力・交流



10月、日トルコ共同訓練

法執行向上能力支援



制圧訓練を指導する派遣協力官